



当協会の Web サイトも、是非ご覧ください。

本部・関東支部	〒102-0074 東京都千代田区九段南 4 丁目 8 番 9 号(日本水道会館) TEL: 03 (3264) 6655 FAX: 03 (3264) 5075	中部支部	〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3-22-8 (大東海ビル) TEL: 052 (561) 3075 FAX: 052 (433) 8338
関西支部	〒542-0081 大阪市中央区南船場 4 丁目 12 番 12 号 (ニッセイ心斎橋ウエスト) TEL: 06 (6245) 0401 FAX: 06 (6245) 0300	中国四国支部	〒730-0032 広島市中区立町 2 番 23 号(野村不動産広島ビル) TEL: 082 (545) 3596 FAX: 082 (545) 3586
北海道支部	〒060-0002 札幌市中央区北二条西 2 丁目 41 番地(札幌2・2ビル) TEL: 011 (251) 8710 FAX: 011 (522) 5310	九州支部	〒810-0001 福岡市中央区天神 2-14-2 (福岡証券ビル) TEL: 092 (771) 8928 FAX: 092 (406) 2256
東北支部	〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-5-1 (NL仙台広瀬通ビル) TEL: 022 (261) 0462 FAX: 022 (399) 6590		

# 日本ダクタイル 鉄管協会



Japan Ductile Iron Pipe Association  
INFORMATION



<https://www.jdpa.gr.jp/>

# 暮らしを支え、 未来へ繋げる ダクタイル鉄管

日本ダクタイル鉄管協会は、1947(昭和22)年、全国のダクタイル鉄管製造関係者によって、組織された団体で、水道事業の運営に深くかかってきた顧問団を有し、各種の委員会を設け、幅広い活動を行っています。数百年の歴史を持つ鑄鉄管は、この間に改良を重ね、現在では強靱な性質を持つダクタイル鉄管として、上水道、簡易水道、下水道のほか、工業用水道、農業用水道など、幅広くご使用いただいています。当協会は、全国7地域(北海道、東北、関東、中部、関西、中国四国、九州)に支部を設けて、ダクタイル鉄管の普及と技術の向上のための事業を推進しています。

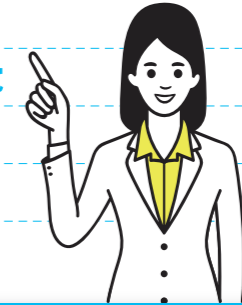
## 事業内容

1. ダクタイル鉄管に関する規格の制定
2. ダクタイル鉄管の設計・施工などに関する調査・研究
3. 管路の維持管理・更新などに関する調査・研究
4. 各種研究会の運営
5. ダクタイル鉄管に関するテーマを中心とした技術説明会と継手接合研修会の開催
6. 水道界の課題解決をテーマとした協会セミナーの開催
7. ダクタイル鉄管に関する技術資料・PR資料等の発行
8. 各種展示会への出展
9. 各種研究発表会での技術発表
10. 関連官公庁や関連団体と連携した活動

# Ductile Iron Pipe

## 規格の制定や各種調査・研究への取り組み

1. ダクタイル鉄管に関する規格の制定
2. ダクタイル鉄管の設計・施工などに関する調査・研究
3. 管路の維持管理・更新などに関する調査・研究
4. 各種研究会の運営

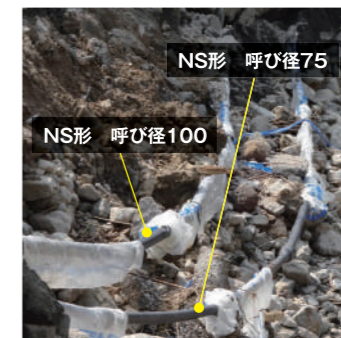


### ハザードレジリエントダクタイル鉄管 (HRDIP)



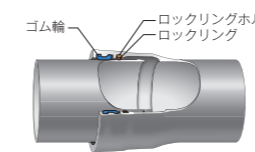
「耐震継手ダクタイル鉄管」は、地震に強いだけでなく、津波や液状化などの二次災害、近年増加している台風・豪雨などの自然災害でも強靱な管体と優れた継手性能により、その有効性を発揮しています。当協会では、「耐震継手ダクタイル鉄管」を、様々な「ハザード(自然災害)」に対して、強くてしなやかな「レジリエンス(強靱化)」に富んだ「ハザードレジリエントダクタイル鉄管(HRDIP)」と定義しました。

「耐震継手ダクタイル鉄管」は、地震による被害がなく、津波や豪雨による道路崩壊等様々な自然災害に耐えた事例が多数報告されています。当協会では、実際に使用されている管路の挙動を調査し、耐震性について検証しており、信頼性と評価を高めています。

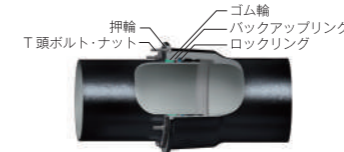


### 耐震継手ダクタイル鉄管ラインナップ

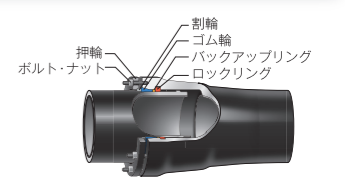
#### GX形 呼び径75~450



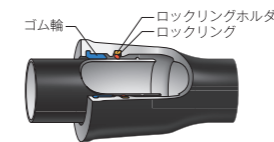
#### 呼び径500~1000



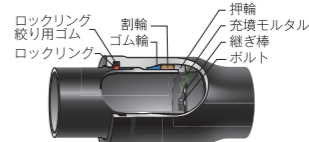
#### S形 呼び径1100~2600



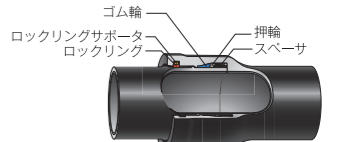
#### NS形E種 呼び径75~150



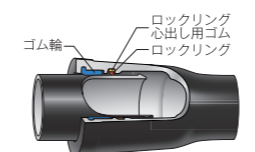
#### US形 呼び径800~2600



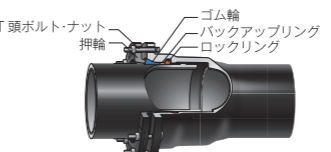
#### US形R方式 呼び径1500~2600



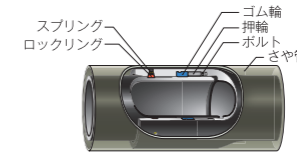
#### NS形 呼び径75~450



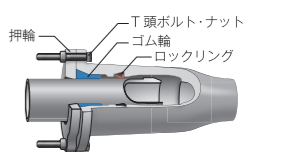
#### 呼び径500~1000



#### PN形 呼び径300~1500

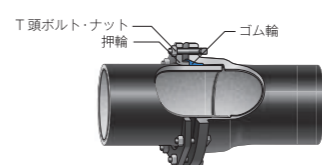


#### S50形 呼び径50

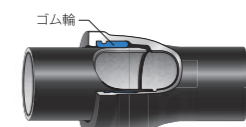


#### 一般管

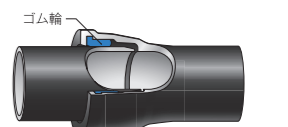
#### K形 呼び径75~2600



#### T形 呼び径75~2000



#### ALW形 呼び径300~1500

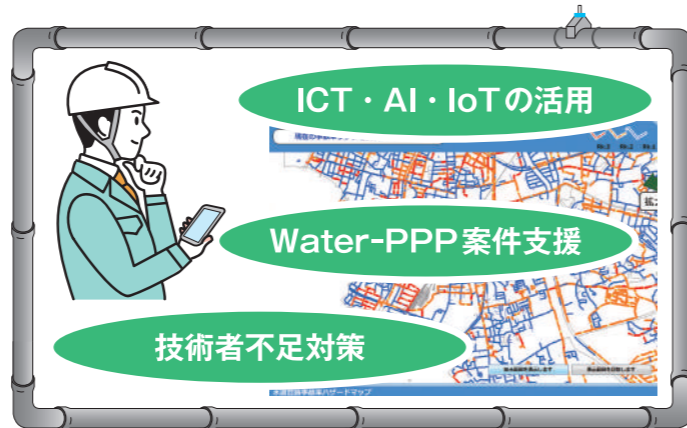


健全な管路を維持するための維持管理・管路更新の推進

ダクタイル鉄管の普及活動で培った水道関係者とのネットワークや顧問団の有する専門的知見に、最新の知見やデジタル技術を取り入れ、水道業界のニーズを先取りすることで、管路の維持管理や更新・技術継承などの課題解決を支援します。

活動内容

- 管路工事の DX
- 設計積算業務の効率化
- 技術の標準化、様式の統一
- 更新計画の策定支援
- 新たな老朽度評価手法の策定
- 管路の維持管理技術の研究
- 管路内の水質管理
- 有収率向上 等



管路の強靱・持続に関する研究会

当協会は平成 30 年度より、管路更新の促進を目的として「管路更新を促進する工事イノベーション研究会」を設置し、設計施工一括発注方式（小規模簡易 DB）の提案、委員事業体によるモデル事業の実施による事例の蓄積、導入マニュアルや各種手引きによる情報発信等を行って参りました。

これまでの研究会活動を通じ、管路更新は日々の維持管理から更新計画の策定、工事実施時のバルブ等付属施設の機能確認や操作等、幅広い対応が必要で、管路に関わる業務間の連携と、一連の業務が円滑に循環することが必要である旨を再認識しました。

それを踏まえ、令和 6 年度からは名称を「管路の強靱・持続に関する研究会」と変更し、管路の維持管理にも活動の幅を拡げ、水道管路の抱える多様な課題の解決に貢献するべく、活動を行っています。



環境への取り組み

昨今、様々な環境問題が深刻化する中、当協会はダクタイル鉄管が環境に優しい製品であることを様々な角度から発信し、カーボンニュートラル、循環型社会の実現に貢献して参ります。



業界を支えるサポート役としての取り組み

- 5. ダクタイル鉄管に関するテーマを中心とした技術説明会と継手接合研修会の開催
- 6. 水道界の課題解決をテーマとした協会セミナーの開催

ダクタイル鉄管に関する各種説明会、研修会の開催や、水道界の課題解決に向けたセミナーの開催等、業界を支えるサポート役として、官公庁や関連団体とも連携して様々な活動に取り組んでいます。

技術説明会  
継手接合研修会

ダクタイル鉄管の普及と理解を深めていただくための技術説明会や、配管工事技術者の育成のための継手接合研修会などを実施しています。  
※詳しくは当協会Webサイトまたは協会本部にお問い合わせください。



セミナー

水道界の課題解決に向けて、産官学の懸け橋となるべく、水道事業に関する最新情報や先進事業体の事例を大学の先生や事業体の方々に講師に招き、セミナーとして開催しています。また、相互交流型のミニセミナーも企画しています。



会場によっては展示コーナーを設置し、製品のカットサンプルやパネルをご覧いただけます。

豊富な資料・協会誌等による技術情報や最新情報の提供

- 7. ダクタイル鉄管に関する技術資料・PR 資料等の発行

豊富な資料の作成

ダクタイル鉄管に関する一般的な知識、設計・施工に関する技術的な内容等について、豊富な資料を作成し、ビデオや図面等も含め、丁寧にわかりやすく解説をしています。

<p><b>技術資料</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ダクタイル鉄管管路のてびき</li> <li>● ダクタイル鉄管管路 設計と施工</li> <li>● GX形ダクタイル鉄管 管路の設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 下水道用ダクタイル鉄管 管路のてびき</li> <li>● 農業用水用ダクタイル鉄管管路 設計と施工 等</li> </ul>
<p><b>施工要領</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各継手の接合要領書</li> <li>● 継手チェックシート</li> <li>● 接合ビデオ 等</li> </ul>	<p><b>ガイドブック</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ダクタイル鉄管ガイドブック</li> </ul>
<p><b>便覧</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 便覧</li> </ul>	<p><b>カタログ・パンフレット</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● GX形ダクタイル鉄管</li> <li>● ダクタイル鉄管の耐震性および長期耐久性</li> <li>● 下水道の未来と暮らしを支えるダクタイル鉄管 等</li> </ul>

協会誌「ダクタイル鉄管」を発行

協会誌「ダクタイル鉄管」は、昭和 41 年に創刊号を発刊してから、水道事業者の職員をはじめ多くの方にご愛読いただき、100号以上発行しています。年に2回、ダクタイル鉄管に関する最新の技術情報や施工事例、事業者の広報活動の取り組みや協会の活動等紹介しています。



ホームページによる情報発信

当協会の活動はホームページでも積極的に発信しています。また各種資料や接合方法の動画等も閲覧やダウンロードが可能です。

<https://www.jdpa.gr.jp/>



# ダクタイル鉄管の普及に関する取り組み

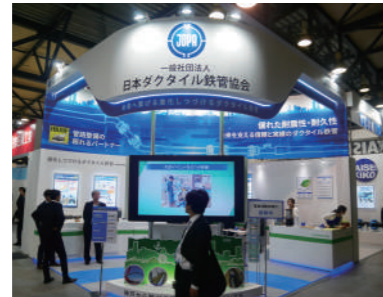
## 8. 各種展示会への出展

## 9. 各種研究発表会での技術発表

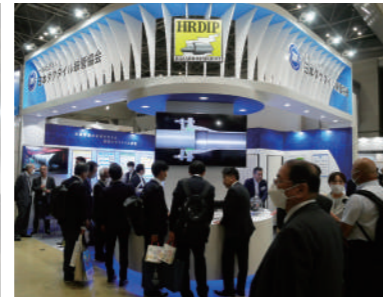
## 10. 関連官公庁や関連団体と連携した活動

### 各種展示会への出展

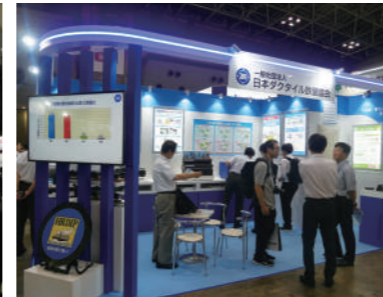
ダクタイル鉄管への関心・理解を深めていただくため、各種展示会やイベントへの出展を行っています。パネルや製品のカットサンプルなどの展示を行い、製品の紹介や最新技術について説明をしています。



2024年 神戸水道展



2023年 東京水道展



2024年 東京下水道展

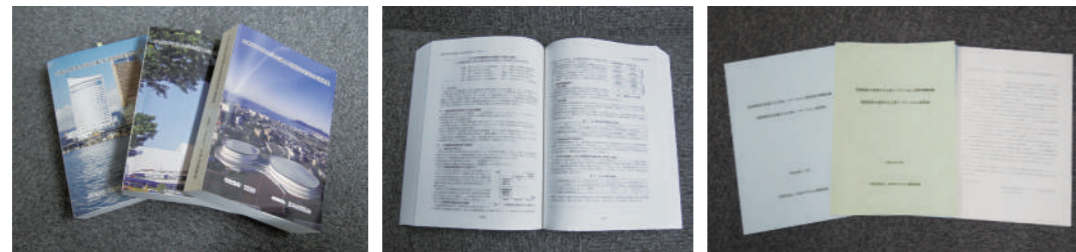
### 市民向けイベントへのPRツールの貸出し

市民向けのイベントなどでも、ダクタイル鉄管の耐震性や強靱性などについて理解していただけるよう、模型やパネルなどの展示品の貸出しや、画像データの提供等を行っています。



### 技術発表

各種研究発表会等での技術発表や研究会の研究成果の発表等、積極的に情報発信を行っています。



令和5年度 日本水道協会全国会議（研究発表会）  
 テーマ：モデル事業を通じた小規模簡易DBの効果検証—  
 管路更新を促進する工事イノベーション研究会研究経過報告

### 加入団体

当協会は各種関係団体に入会し、各団体と連携し、水道界のみならず、各業界の課題解決のために活動を行っています。

- 【主な加盟団体】
- (公社) 日本水道協会
  - (一社) 日本水道工業団体連合会
  - 全国簡易水道協議会
  - 全国管工事業協同組合連合会
  - (一社) 日本工業用水協会
  - (公財) 水道技術研究センター
  - (公社) 日本下水道協会

## 日本ダクタイル鉄管協会の歩み

昭和 22年(1947)	10月	「鑄鉄管倶楽部」創立総会開催。大阪市北区に事務所を設置
昭和 23年(1948)	8月	「鑄鉄管協会」に名称変更
昭和 33年(1958)	3月	東京事務所開設（東京都文京区）
昭和 39年(1964)	6月	「鑄鉄管設計資料」作成配布
昭和 40年(1965)	12月	「日本鑄鉄管協会」に名称変更
昭和 41年(1966)	4月	「鑄鉄管便覧」発行
	8月	「鑄鉄管協会誌」創刊号発行
	9月	技術説明会を開始
昭和 52年(1977)	6月	「日本ダクタイル鉄管協会」に名称変更
平成 22年(2010)	10月	GX形管の規格制定
平成 24年(2012)	4月	創立65年目に「一般社団法人 日本ダクタイル鉄管協会」を登記
平成 29年(2017)	4月	「ダクタイル鉄管」100号記念号の発行
	6月	創立70周年講演会・祝賀会の開催
平成 30年(2018)	5月	「管路更新を促進する工事イノベーション研究会」発足
令和 6年(2024)	6月	管路技術委員会設置
		「管路更新を促進する工事イノベーション研究会」を「管路の強靱・持続に関する研究会」へ名称変更

## 組織図



(令和7年4月1日現在)

会員会社 (6社 令和7年4月1日現在)

- 株式会社クボタ
- 株式会社栗本鐵工所
- 日本鑄鉄管株式会社
- 株式会社遠山鐵工所
- 九州鑄鉄管株式会社
- 日之出水道機器株式会社